

# 多様な主体との連携による 「防災の日常化」に向けた三重県の取組

自立と分散で日本を変える  
ふるさと知事ネットワーク第11回知事会合



平成30年1月22日

三重県



## 協定の締結

平成26年4月1日「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター設置に関する協定」を締結

## 設置の目的

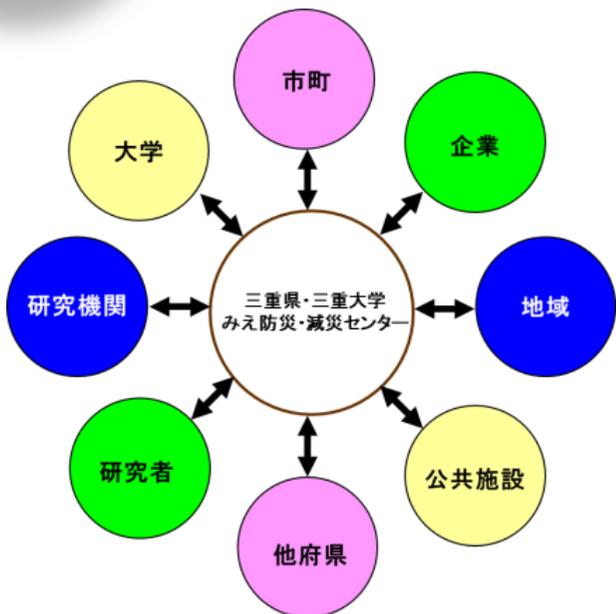
三重県と三重大学が相互に連携・協力し、防災に関する人材育成・活用、地域・企業支援、情報収集・啓発、調査・研究等に取り組み、三重県における地域防災力の向上に資する。

### 全国初の組織

### 連携・参画



「みえ防災・減災センター」開所式 (H26.4.18)



### 人材育成・活用分野

- 市町職員向け研修
- みえ防災コーディネーター 育成講座
- 災害医療コーディネーター 研修 など



### 地域・企業支援分野

- 地域や企業の防災活動の支援 など



### 情報収集・啓発分野

- みえ防災・減災アーカイブの運用
- シンポジウム等のイベントの開催 など



### 調査・研究分野

- 災害に関する三重県内の地域課題の解決に資する調査研究 など



## 三重県の取組② 三重県と津地方気象台との連携強化

- 気象台が実施してきた防災知識の普及啓発事業と、「みえ防災・減災センター」が実施してきた防災人材の育成や啓発事業の一体化を図り、企画段階から実施まで両者が連携
  - 地震・津波や風水害に関するシンポジウム等の共同開催
  - 研修事業の共同実施（講師派遣、教材等の提供）
- 三重県災害対策本部への気象台職員の派遣
- 県防災施策に関する研究会の設置
  - 「三重県版タイムライン」を平成30年3月までの策定完了をめざし、気象台を含む関係機関とともに検討中
  - 平成29年6月1日から総括部隊が使用する「三重県版タイムライン（試行版）」の運用を開始し、7月～10月の5つの台風で試行
- 学校における防災教育・防災対策推進のための連携



H28.9.9津地方気象台との連携を発表



シンポジウムの共同開催



防災人材育成の共同実施（気象台職員による研修）



台風第3号に備えた緊急部長会議において気象台職員から説明（H29.7.4）



三重の地域防災力向上へ

災害対応力の強化を支援する新しい防災情報プラットフォームを平成29年度から運用開始

大規模災害の脅威

南海トラフ地震  
激化の様相を見せる風水害  
など

災害対応力の強化が必要

そのためには...



基本方針

災害対応を行う  
「関係者間の情報共有」  
を促進し、  
「業務の省力化」  
を行うことで、多くの労力と時間を  
要する「情報分析」や「対策立案」  
を迅速に行う。  
また、県民に対し、  
「わかりやすい情報提供」  
を行い、「自助」「共助」「公助」が  
連携した災害対応を行う。

新しい防災情報プラットフォームの運用

クラウド上に構築

防災GIS



関係者間の情報共有

- 被害情報等を地図上に表示
- 各データの重ね合わせによる被害予測を支援
- 時系列で被害情報等(速報、詳細)を入力し活動状況を共有
- 活動目標を共有し対策立案を支援

対応経過表



業務の省力化

- 簡便な被害情報の登録
- Lアラートへの送信の連動
- 緊急速報メールの一括配信
- スマートフォン等の活用

県民向けポータルサイト  
(防災みえ.JP)



分かりやすい情報提供

- 地図等を利用したより分かりやすい情報提供
- 三重県公式SNS(Twitter)により気象情報などをリアルタイムに発信(6月)



防災みえ @bosaimie · 10月21日  
2017/10/21 18:15  
気象庁から三重県内に、気象警報・注意報に関する情報が発表されました。

詳しくは防災みえ.jp :

システムの導入効果

情報の可視化による  
迅速な概況把握

リアルタイムに情報  
共有

対応の進捗状況を  
管理

緊急情報をより  
迅速かつ  
分かりやすく伝達

## ◎過去の災害や高齢化・地形など地域特性に応じたきめ細かな支援を実施

### 内陸部(伊賀市)

沿岸部での被災を想定し、広域防災拠点での物資搬送訓練を実施



### 熊野灘沿岸部(熊野市・紀宝町)

紀伊半島大水害の教訓を活かし、福祉避難所運営マニュアルを策定  
自主防災組織を中心に資機材整備、地区タイムラインを策定



### 海拔ゼロメートル地帯(桑名市・木曾岬町)

ゼロメートル地帯の液状化による冠水を想定し、液状化冠水地区救出訓練を実施



### 三重県(全域)

- ・専門知識を有した防災技術指導員が地域の実情に応じ、防災対策を支援
- ・地域減災力強化推進補助金により市町の取組を支援
- ・「みえ防災人材バンク」に登録した人材が、地域の取組を支援



### 伊勢湾沿岸部(伊勢市・明和町)

住民一人ひとりの津波避難計画「Myまっぷラン」を集約し、地域の津波避難計画を作成



### 過疎・高齢化地域(志摩市・南伊勢町)

防災の担い手不足に対応するため、中高生が参加した防災訓練を実施



多様な主体との連携による「防災の日常化」を目指した取組を進めています